

会員数(52.7.1現在)

逗子地区 111名

葉山地区 216名

大船地区 83名

合計 410名

吟道月報

社団法人 日本詩吟学院 缶風会 認可

神奈川県 碩心会 発行

52.7.5

第60号

編集

加藤冽風

五十二年碩心会

秋季昇伝審査会

について

日時。九月十八日(日)

午前九時半集合(十時開始)

場所。逗子市図書館ホール

審査料。三〇〇円(各支部ごとに)

とりまとめ、当日許証部

長 中村幸風 にお

届けください

審査員。常盤缶湖先生、新田缶悠

先生、加藤缶雄先生

資格者人員

初段	三十八名
二段	二十一名
初伝	二十八名
三段	二十九名
四段	十四名
中伝	十七名
五段	三十四名
六段	十七名
奥伝	十五名
〔合計〕	二一三名

備考 初段から三段までは控室、

四段以上、以上はホールで

それぞ此審査を行います

五十二年秋季

審査課題

四段		三段		初段		二段	初段
課題吟	自由吟	課題吟	自由吟	課題吟	自由吟	自由吟	自由吟
自 詠 静夜思(李 白) 3/56 詠 山行(杜 牧) 2/38 五言絶句一題	漫吟(佐久回象山) 1/62	生田に宿す(菅茶山) 2/25 神州(乃木希典) 2/33	七言絶句一題	川中島(頼山陽) 1/41 金州城(乃木希典) 1/60	壁に題す(村松文三) 1/36	七言絶句一題	七言絶句一題

奥段		六段		五段		中段	
課題吟	自由吟	課題吟		課題吟		課題吟	
漢詩	自由吟	和歌	漢詩	和歌	漢詩	和歌	漢詩
天意を知れ(西郷南洲) 2/84	和歌一首	幾山河(若山牧水) 2/154	論流(西郷南洲) 1/86 藍関の詩(韓 愈) 1/90 かくすれは(吉田松陰) 4/145	箱根路之(源 実朝) 2/149 身はたとい(吉田松陰) 2/152	書懐り後篇(西郷南洲) 1/84	本能寺(頼山陽) 1/80	児島高德(斎藤監物) 1/76 天草洋に泊す(頼山陽) 1/74 あさ及びり(明治天皇御製) 2/150 敷島の(本居宜長) 2/150
			律詩一題			律詩一題	律詩一題

師範		進師範		奥区			
課題吟		課題吟		課題吟			
漢詩	自由吟	和歌	漢詩	書取リ	新体詩	俳句	和歌
◎梅山はいとしてより(賴山陽) 2/96	書懷(前篇)(西郷南洲) 2/66 楠河州の境に謁して作有り	押して見よ(平野国臣) 後記	山中の月(真山民) 1/94 黄鶴楼(崔顥) 1/98 田子の浦ゆ(山部赤人) 1/98	偶感(西郷南洲) 2/19	小諸なる古城のほとり(島崎藤村) 4/106 次の詩文を書き吟符をつけろ	古池や(芭蕉) 3/155 トノホつり(千代) 後記	上(の)衣は(西郷南洲) 後記 白鳥は(若山牧水) 4/155
					奥の細道(松尾芭蕉) 1/144		

師範				
課題吟				
書リ	新体詩	俳句	和歌	
本能寺(賴山陽) 1/80	千曲川旅情の歌(ク) 4/107 次の詩文を書き吟符をつける	こゝろがまゐ(一茶) 3/158	夏(の)夜(の)(紀貫之) 後記	父(君)よ(落合直文) 4/150

大記註

★初伝以上の自由吟は各々の課題吟以外のものを選ぶこと。
 ★碩心会の方針として、初段及び二段の自由吟は、なるべく初伝並みに三段の課題吟以外のものを選ぶこと。

西郷南洲
 大和錦衣はさもあらはぬ歌島
 大和錦衣はさもあらはぬ歌島

加賀の千代

トンボつり今日はどこまで行ったやら

平野 国臣

押して免よ外国人のカモテ

大和島根の動くものは

紀 貫之

夏の夜の臥すかとしれば杜宇

なく一声に効くる東雲

去 来

たまたまに 三日月拜む 五月かな

「会員の異動」

新 入 員

大船口支部 加藤ハル 梅浪市破子区洋光(五五二二三) (77)0五三

三右サツキ (77)九五五

・新教場の開校

桜山口支部 指導者 三井雪岳先生

連絡先 広瀬五十子(逗子市逗子四三六(電)7三三六)

松永千エ子 逗子市逗子三三三 (電)7一五四八八

岡野 和子 (電)7一七二七一九

山口美代子 逗子市新宿三十一 (電)7一七二四五二

金子 静子 逗子市逗子三三三 (電)7一 六五一一

松岡登喜子 (電)7一 八八六〇

◆退会々員

堀内支部(E) 鈴木 秀治

34 一色 A支部 坂本 佳風

43 鈴木 恵山

44 立松 雪山

戸塚支部 今西 功

▼住所変更

戸塚支部 後藤幸子 戸塚区三ツ谷町(五五二二三) (電)7一四二七五

★訂正・追加

五三三六二才五九号「硬心会指導者講習について」

三 講習日時 七時〜九時半は 七時半〜九時半の誤りて

れたので訂正いたします

五三三六二才五九号「会員異動」新会員鎌倉美津子の電話番号は「七五二七〇四」ですので追加いたします

第二回紫舟会・紫舟流詩舞

チャリティーショー

マと き。九月十二日(日)十時〜十五時(分)

マと ところ。逗子市図書館ホール

碩心会再建二十周年記念
吟道大会

収支会計報告書

支 出		収 入	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
プログラム印刷代@130×500部	65,000	会費参加者326名	507,900
会場費(ホ-ル、別館-室)	4,400	欠席者69名(半額)	
準備委員会々場(5回)	2,800	(場内C)萩原芳山様	13,000
〃 会議室	19,825	会費寄附	
案内状はがき及び印刷代60枚	8,200	(通子A)石井廣凡様	
プログラム送付の際の趣意書印刷代50枚	3,000	筆者祝儀水峰商店(記念品購入)	3,000
〃 懇親会案内状印刷代50枚	1,000	招待の先生より祝儀	74,000
札状印刷及びはがき代50枚	4,500	(28人のうち23人分は車代	
案内状プログラム等郵送料(信封筒代)	6,380	として61,000支出)	
記念品招待者@1,000×50人	50,000	本部会計より補助	19,360
〃 会費@300×420	126,000		
記念品用手提紙袋@30×100枚	3,000		
弁当代@350×380(4,600円値引)	128,400		
祝い生花代	10,000		
金銭借用代	1,500		
尺八伴奏者謝礼	8,000		
華道吟花代(2巻分)	4,000		
事務用品代	3,285		
連絡費	3,330		
懇親会々場費(タクシー、駐車料含む)	4,000		
懇親会料理代(含む茶)	74,040		
〃 飲物代	20,100		
招待の先生がへ車代(23人)	61,000		
ステージ看板用枠製作代	4,000		
胸記章借用謝礼	1,500		
合 計	617,260	合 計	617,260

上記のとおり報告いたします
昭和52年6月8日

会計 千葉香風 印
〃 村田 静山 印